

※IGRA 検査(QFT、T-SPOT)

血液による、体内に結核菌があるかないかを判定する検査(診断補助的検査)

1 QFT 検査

- ・結果を数値で判定
- ・3～10 日位で判明



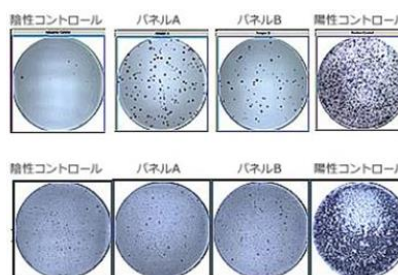
Nil値 (IU/ml)	TB1値 (IU/ml)	TB2値 (IU/ml)	Mitogen値 (IU/ml)	結果	解釈
8.0以下	0.35IU/ml以上かつ Nil値の25%以上	不問	不問	陽性	結核感染を疑う
	不問	0.35IU/ml以上かつ Nil値の25%以上	不問	陽性	結核感染を疑う
	0.35iu/ml以上 あるいは0.35IU/ml以上かつNil値の25%未満		0.5IU/ml以上	陰性	結核感染していない
	0.35iu/ml以上 あるいは0.35IU/ml以上かつNil値の25%未満		0.5IU/ml未満	判定不可	結核感染の有無について判定できない
8.0を超える	不問	不問	不問	判定不可	結核感染の有無について判定できない

※TB2-TB1 が 0.6 以上の方は、最近の感染を示唆している。(出典:結核研修所)

- ・TB2 が高いのは、最近の感染や発病の可能性疑い

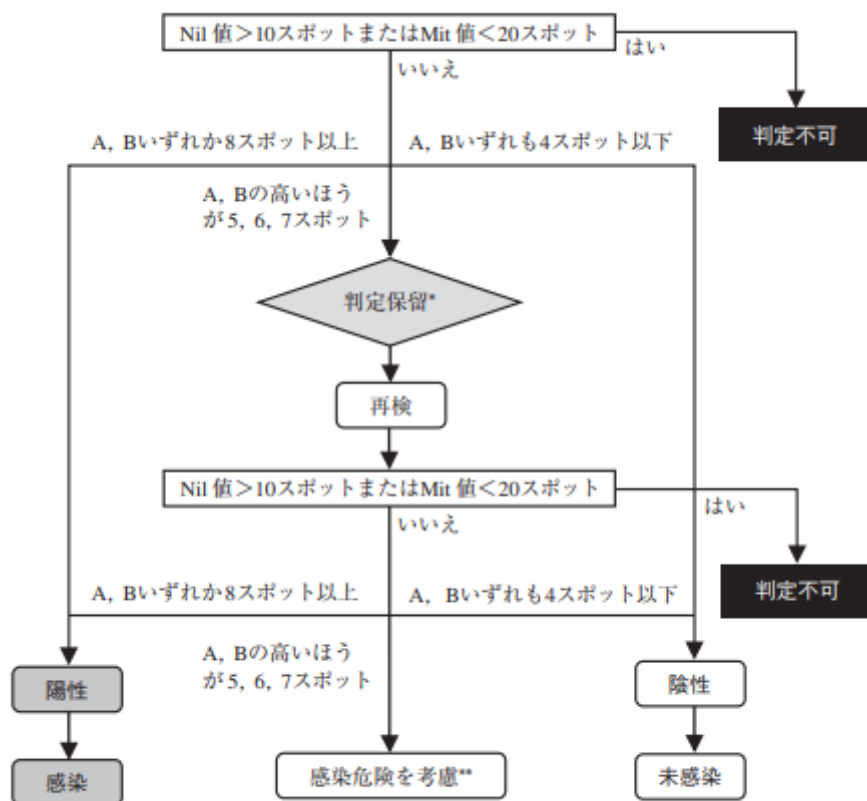
2 T-SPOT

- ・スポット数を計測することで判定
- ・3～7 日位で判明



陰性 コントロール (Nil値)	陽性 コントロール (Mit値)	どちらか高い方		判定結果	備考
		特異(パネル) 抗原A	特異(パネル) 抗原B		
10<	20>			判定不可	結核感染の有無について判定できない
10≥	20≤	4≥		陰性	結核感染していない
		5		陰性+判定保留	再検査を推奨
	不問	6～7		陽性+判定保留	
		8≤		陽性	結核感染を疑う
11≤	不問	不問		判定不可	再検査が必要
10≥	20>	5≥			

※どちらの検査も適正な環境のもとで、検査した場合の結果に優位さはありません。



* 陽性・判定保留または陰性・判定保留。

** T-SPOTで再検査を行って、再度「判定保留」であった場合には、総合的に診断する。

(出典:日本結核・非結核性抗酸菌症学会予防委員会)



(大分県豊肥保健所 検査課 診療放射線担当 令和7年3月14日作成)